

2015 年 I S A F 年次会議報告

国際委員会 田中正昭

報告：2015 年 11 月 19 日

11 月 6 日～14 日に、中国海南島三亜市で開催された、I S A F 年次会議に参加しましたので報告いたします。

海南島は、中国が「東洋のハワイ」にしようとリゾート開発に力を入れていて、サンヤはボルボ・オーシャンレースの寄港地としても有名です。会場となった **Kempinski Hotel** はサンヤ市街から東に 30 k m くらい行った海タン湾にある巨大なリゾートホテルで、そのエリアにはほかにも巨大なリゾートがあり、隣の敷地にはさらに高層ホテル建設が進んでいました。ただし周りには何もなく、ホテルから 2 k m のところにある中華料理店が唯一の歩いて行ける店で、公式行事の無い日は多くの ISAF 参加者がそこで食事をしていました。（有名な海南チキンをはじめ、新鮮な魚介類を中心とした料理がたいへん美味だったことを特記しておきます。また、ホテルやレストランの従業員の接客態度が、笑顔にあふれ、洗練されていたのが驚きでした。）

1. 参加した会議

会期のうち、私が出席したものは以下の通り

8 日 IJ Sub-committee オブザーバー

9 日 Match Racing Committee オブザーバー

IU Sub-committee 委員会メンバー

10 日 Race Officials Committee オブザーバー

11 日 MNA Forum

Racing Rules Committee オブザーバー

12 日 Event Committee オブザーバー

2. 参加したソーシャル・プログラム

委員会のほかに、下記行事に参加した。

7 日 ROC 小委員長・副委員長ディナー（ROC 委員長 Jan Stage の呼びかけによる）

10 日 ROLEX Sailor of the Year Award Dinner

11 日 サンヤ市主催歓迎ディナー

3. 討議内容：注目した点を簡単に報告します。

（1）IJSC

- WP で検討してきた、特定の条件の下で IJ（International Jury）を 3 名で構成できるようにする規則の改訂が提案（submission）された。
- 「Off Site Jury」（大会会場には居らず、Skype 等で審問に参加）についても検討中。
- Jury がレース中に（オーバーヘッド・カム等で）撮影した映像の取り扱いについて、ガイドライン

を作成する必要がある。

- NoR/SI でドローンを規制する規定を盛り込む大会が増えていることが報告された。
- 2016 年の IJ セミナーについては、現時点で具体的な計画はないとのことだったので、日本が 7 月に計画していることを報告した。(JSAF ルール委で計画の促進を促す。)

(2) MRC

- Youth MR Worlds
New Caledonia 14-18 June
U23 as of 31Dec 2016
Entry by E/Jan 2016 through Intenet.
Maximum 16 teams including 2 host nation's team.
- World Match Racing Tour
2015 年途中でタイトルスポンサーが降りたので、現在新たなスポンサーと交渉中。
2016 年シーズンは、M32 というマルチ・ハル、フォイリング艇を使用して、新たなフォーマットで開催する。
- Nations Cup Future
2015 年大会は 20 か国の参加を得て実施
次回はフォーマット（リージョナル・ファイナル+グランド・ファイナル）を見直す。
エマージング・カントリーズの参加を促す。

(3) IUSC

① IU 認定の要件についての議論

- プリンシパル・イベント・ガイドラインについて
2015 年にアンパイア制フリートレースとメダルレースをアンパイアの要件として含めることができる改訂が行われたが、現行 4 つまでを 6 つまでとするリコメンドを ROC にすることになった。
- MR (プリンシパル・イベント) の劇的減少を背景として、ROC 委員長からの要請で、アンパイア制フリートレースのみでの IU 認定を認めるべきかどうか議論したが、IUSC メンバーは概ね否定的な意見だった。
- 2016 年にフリートレース・アンパイア・クリニックを開催する予定。フリートレースのアンパイアリングの確立に取り組むことでは一致した。

② IU グルーピング・システム

- ROC ではすべてのレース・オフィシャルズに対してグルーピング・システム導入を検討している。IJ、IM については前向きにとらえられているとのこと。IU については過去の運用の困難さを解消できるかどうか、なお懐疑的な意見が多かった。

③ IU Mentoring (IU の個別指導制度)

- 昨年 of 年次会議において、ツアー・イベントにて試行するとの報告があったが、結局実施されなかった。

④ IU Manual

- MR

「Common Sections」は分離され、別個の文書として発行された。

2017 年版ルールブックが発行され次第、変更部分を反映したものを発行する。

MR マニュアルの改訂は私が担当することとなった。

- TR

新マニュアルのドラフトが 5 月に発行されたが、なお議論中である。7 月の TR ワールドにおいても議論があった。早急に完成を目指す。

⑤ サブミッション

2015 年に試行した「Test Rules Package」に基づいた規則改定のサブミッション (230-15~233-15) はすべて支持する。232-15 (C2.6 規則 17 の変更) については Option2 の「規則 17 を削除する」を支持することとなった。

(4) ROC

- 2016 年 Seminar・Clinic

- Race Management

Asia/Africa を重点に

Clinic : Dec2015Tokyo + 2016 年にアジアで 3 回

Seminar : 欧州 1 回+各大陸で各 1 回

- International Measurer

Clinic : Africa、Denmark

Seminar : 欧州、アジア、AUS

- IJ

Seminar : 日本、フィンランド

- IU

Seminar : 2 回

フリースタイル・アンパイア・クリニック 2 回

2017 年に FR アンパイア・カンファレンスを計画する予定

Seminar に関して、ASAF 幹部を務める人から、アジアで行う際は ASAF を通してほしい、との発言があった。これについては、ASAF のアプルーブは必要ないが、情報を共有し候補者の掘り起こしや紹介等で協力することとした。

- Travel Grants

各分野で資格要件に近いところまで来ている候補者に対し、ISAF が、プリンシパル・イベントに指名される機会と旅費の補助を与える制度。一定の予算の下、今期も実施される。

- マニュアル

Common Sections として各分野のマニュアル冒頭に配置されていたものを分離し、「Race Officials Manual」として発行した。

- 昨年承認された新たなレース・オフィシャル資格の認定が行われた
 - ・ International Classifier 10 名
 - ・ International Expression Judge 今年度該当なし
 - ・ International Technical Delegate 7 名
 これら資格のプリンシパル・イベント・ガイドラインは、2016 年 2 月 1 日までに作成される。
- Race Officials Grouping の実施が承認された。
(詳細は追って発表される文書を参照してください。)
- Race Officials Performance Assessment
Santander と Rio Test Event で実施された。
- 「International Equipment Inspector」について
 - ・ Equipment Committee から標記資格の新設と、ISAF 制度および RRS から「Measurer」という用語を廃止して「Equipment Inspector」で統一するべき、というサブミッションが提出された。
 - ・ これに対し ROC からはむしろ「Equipment Inspector」という用語を廃止し、「Measurer」で統一しようというサブミッションが提出された。
 - ・ EC と ROC で合同の WP を作り、検討することとなった。

(6) MNA Forum

ISAF 副会長 Gary Jobson の司会進行のもと、下記のようなパネル・ディスカッションや講演が行われた。

- 「World Sailing」の方向性 パネル・ディスカッション
司会 : Gary Jobson、Peter Sowrey (ISAF CEO)、Alaster Fox (Head of Events)、Malcom Page (Head of Marketing and Media)
マーケティング重視、ブランディング戦略の重要性が強調された。
- イベント戦略についての講演 : Chris Atkins (副会長)
Para Sailing への取り組み、カレンダー問題への取り組みなど。
- Para Sailing
Disabled Sailing 委員長 Betsy Alison へのインタビュー
2020 年に関しては Slim Chance しかないが、11 月 14 日に開催される IPC 総会で 23 番目の競技が決まるので、それに掛けたい、との話があった。
- Women's Forum
Sarah Ayton (GBR : 2015 Rolex Sailor of the Year 受賞)、Sarah Kenny (AUS : 元ウィンドサーフィン世界チャンピオン・現イベントコミティー委員) へのインタビュー
セーリングを通して女性としてのキャリア形成等々の話題が話された。
- Emerging Nations Program
アフリカでの Clinic の様子を映像で紹介。これらの国の若いセーラーをユースワールドに参加させるプログラムに取り組んでいることが紹介された。

- Match Racing Denmark の取り組み紹介

営利団体として、マッチレース艇の運用、大会の開催、マッチレースの普及の活動が紹介された。

- Stan Honey インタビュー

ヨットレースのグラフィック化技術の開発者。外洋レースのナビゲーターとして輝かしい経歴を持つ。有名な外洋艇での活動や、前回アメリカズカップでのグラフィックについて話があった。

4. 旅費精算

航空券 羽田ーサンヤ 中国国際航空	¥44,260
京急 新逗子（自宅）ー羽田空港	¥1,580
合計	¥45,840

宿泊費は柴沼さんと同室のため不要。

振込口座 三井住友銀行 五反田支店 普通口座 700032 タナカ マサアキ

以上